

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例の一部改正について

【諮問事項】

1 趣旨

県は、県民の健康で快適な生活の確保に寄与することを目的として、「県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例」（以下「生活環境保全条例」という。）により、水質汚濁防止法等の規制対象を広げて公害規制を行っている。

今般、水質汚濁防止法等が改正され、新たな規制項目等が追加されたことを受け、生活環境保全条例の関係条項の改正を予定しているが、改正内容について環境審議会にお諮りするものである。

2 法改正の概要

不適正事案の発生防止、地下水汚染の未然防止等を目的として、水質汚濁防止法等が改正された。（最終改正平成 24 年 6 月）

これらの改正により、排水基準項目等の追加及び基準値の改正が行われるとともに、有害物質を使用する施設に対して新たに構造基準が適用された。

3 生活環境保全条例の主な改正点及び諮問事項

水質汚濁防止法等の改正を受け、生活環境保全条例の所要の改正を行うため、次の事項を諮問する。

なお、構造等に係る基準の新設については、従前より岩手県環境審議会の議決事項である排水基準に準ずるものとして、諮問するものである。

【諮問事項】

- (1) 健康有害物質の種類、水質の汚濁にかかる基準の改正（排水基準）
- (2) 健康有害物質使用污水等排出施設の構造等にかかる基準の新設（構造基準）

4 水質部会への付議

3 (1)については、岩手県環境審議会運営規定第 8 条第 4 項別表 1 により水質部会議決事項。
3 (2)についても、上記(1)と関連性が高い事項であることから、併せて水質部会に付議し、一括審議いただきたいと考えている。

5 今後のスケジュール

平成 24 年 9 月	改正内容について審議会に諮問 環境審議会水質部会での審議 パブリックコメント実施
10 月	環境審議会水質部会での審議・議決
25 年 1 月	県法規審査委員会での審議
2 月	岩手県環境審議会へ報告 岩手県議会 2 月定例会議案提出

生活環境保全条例の主な改正点

1 環境審議会諮問事項

内 容	関連法令	根拠等
(1) 有害物質の種類、水質の汚濁にかかる基準の改正	水質汚濁防止法	生活環境保全条例 第 23 条第 3 項
(2) 健康有害物質使用汚水等排出施設の構造等にかかる基準の新設	水質汚濁防止法	上記(1)に準じ環境審議会に諮問

2 諮問事項以外の改正事項

内 容	関連法令
(1) 定期点検義務の創設	水質汚濁防止法
(2) 事故時の措置において、健康有害物質以外の水の汚染状態の項目を追加	水質汚濁防止法
(3) 点検及び自主測定記録義務違反への罰則	水質汚濁防止法・大気汚染防止法
(4) ばい煙発生施設にかかる改善命令の要件の見直し	大気汚染防止法